

カーボンソリッドドライブ取扱説明書

「カーボンソリッドドライブ」は伸びの少ない高強度なベルトを使用しており、ダイレクトなペダリングを可能にしたベルト駆動システムです。その特性上、従来のチェーン車、ベルト車（「フローティングベルト」「スマートベルト」）と取り扱いが異なります。

必ず本取扱説明書をお読みになり、点検及びお手入れをする際は以下の手順で行ってください。

1. 点検のしかた

「カーボンソリッドドライブ」は工場出荷時に調整されていますが、以下に従ってベルトの張りを点検してください。

ベルトの張りが弱いときは販売店に調整を依頼してください。

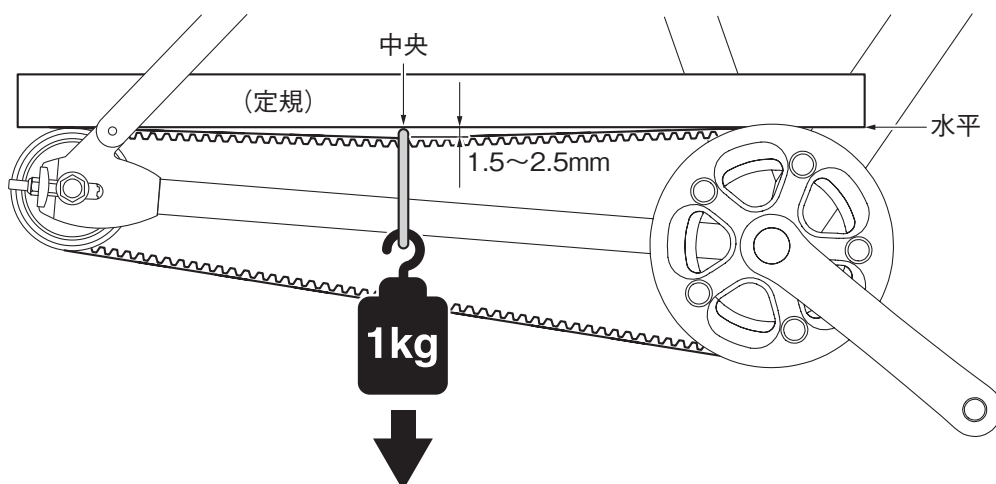
点検ポイント

ベルトの中央部を1kgの力で押したときベルトのたわみが1.5～2.5mmのたわみであること。

ベルトのたわみの測り方

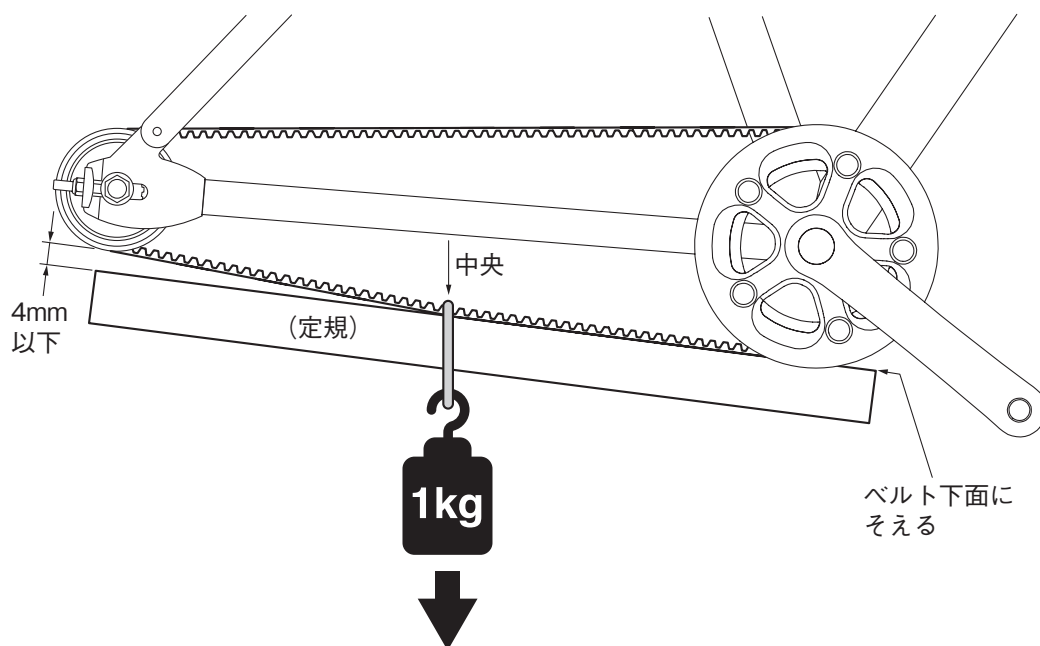
（例1）ベルトケースを取り外す場合

- ①ベルトの上面が水平になるようにして、前後プーリ間中央に1kgの重り（500mlペットボトル2本等）を掛ける。
- ②ベルト上面に定規（直線な物）を渡し、ベルト上面と定規の隙間を測る。



(例2) ベルトケースを取り外さない場合

下側ベルトの前後プーリ間中央に1kgの重りを掛ける。ベルト下面前側に定規（直線な物）を渡し、後プーリと定規隙間が4mm以下であること。



⚠ 注 意

- カーボンソリッドドライブは別冊の取扱説明書の「点検方法」のページに記載の（従来型）ベルト（「フローティングベルト」「スマートベルト」）のたるみ量とは異なります。
- ベルトの張りが弱いと歯飛びを起こしやすくなり、ベルトの寿命低下の恐れがあります。クランクの回転が重く感じられても、ベルトの張りを基準以下に緩めないでください。
- ベルトの張りが強いいため、手でクランクを回すと回転が重く感じられます。これはカーボンソリッドドライブ特有の現象で異常ではありません。

2. お手入れのしかた

ベルト、前後プーリに付着した泥や汚れはふき取ってください。泥や汚れの付着は異音や磨耗の原因になります。

永く使用しているとベルトの歯面に白い繊維が露出しますが、異常ではありません。

⚠ 注 意

- 汚れをふき取るときはフレームや部品の角に注意してください。ぶつけたり引っかけたりしてけがをするおそれがあります。
- クリーナーや洗剤を使用しないでください。ベルトのひび割れ、変色、変形の原因となります。

3. 修理を依頼する前に

「故障かな?」と思われたときは、販売店に修理を依頼する前に以下のチェックを行ってください。

現 象	原 因	対 応
ベルトの歯飛びが起きる (坂道走行やスタート時 ベルトより「バチッ」と 音がする現象)	<ul style="list-style-type: none">●ベルトの張りが弱い●ベルトに歯欠けが生じている (歯元クラックや歯のせん断)●フロントプーリが磨耗している●リアプーリが磨耗している	販売店にご相談ください
点検時、手でクランクを 回すと(通常のチェン 車や従来型ベルト車に比 べて)回転が重く感じる	カーボンソリッドドライブ特有の 現象	『1. 点検のしかた』に従って、 ベルトの張りをご確認ください
	ベルトの張りが高い (ベルトのたわみが1.5mmより 小さい)	販売店にご相談ください
点検時、手でクランクを 回すと(通常のチェン 車なみに)回転が軽く感 じる	ベルトの張りが低い (ベルトのたわみが2.5mmより 大きい)	販売店にご相談ください
ベルトから異音がする	<ul style="list-style-type: none">●プーリ歯面の汚れ●ベルト歯面の汚れ	『2. お手入れのしかた』に従っ て、清掃してください それでも直らない場合は販売店 にご相談ください
	<ul style="list-style-type: none">●後輪が傾いている●ベルトが磨耗している●フロントプーリが磨耗している●リアプーリが磨耗している	販売店にご相談ください

